科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110011	XXX1110011	2	後期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	１年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	１年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	１年
地球環境論	澤口　晋一			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	基礎	選択	１年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	基礎	選択	１年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	基礎	選択	１年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	基礎	選択	１年
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	基礎	選択	１年

授業目的

地球環境問題に特化する．地球環境問題はアプローチの仕方によって国際政治・経済，法学といった分野とも密接に関わってくるが，この講義ではそうした方面からではなく，まず，どこで何が起こっているのかを発生メカニズムを踏まえて具体的に解説した後，その問題に対する（国際）社会の対応と成果および課題，といった順番で説明する．これによって地球環境問題の体系的な把握が可能となり，客観的なアプローチが可能とすることを目的とする．取り上げるのは，地球温暖化，オゾン層の破壊，生物多様性，酸性雨と大気汚染，核燃料サイクルの５項目である．なお，授業ではパワーポイントと同じ内容の資料（カラー）を配布し，それにそう形で授業を進めるが，資料は毎回，翌週使用するものを配布し，事前予習が可能となるようにしている．資料は人数分しかコピーしないので，前週に配布された資料を必ず持参のこと．

各回毎の授業内容

第１回
【授】「地球システム」と地球環境問題
【前・後】事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第２回
【授】地球環境問題の発生とその構造
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第３回
【授】地球環境問題に関する国際社会のこれまでの取り組み
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第４回
【授】地球環境問題としての核燃サイクル①
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第５回
【授】地球環境問題としての核燃サイクル②
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第６回
【授】地球環境問題としての核燃サイクル③（福島第一原発事故による環境汚染）
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第７回
【授】地球環境問題としての核燃サイクル④（福島第一原発事故による環境汚染）
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第８回
【授】地球環境問題としての核燃サイクル④（被ばくとは何か）
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第９回
【授】地球温暖化①
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第１０回
【授】地球温暖化②
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第１１回
【授】地球温暖化③
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第１２回
【授】オゾン層の破壊
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第１３回
【授】生物多様性①（生物多様性はなぜ必要か，生物多様性条約）
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第１４回
【授】生物多様性②（熱帯林の破壊と生物多様性の危機）
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第１５回
【授】酸性雨，PM2.5
【前・後】事前：前週配布資料を通じての予習（２時間），事後：当該週配布資料の見直しと確認，不明点を調べ理解する（2 時間）

第１６回
【授】試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	60	10	10				80
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	20						20
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

成績評価は，定期試験のほか，レポートを１～２回課し，その総合点で行う．なお，授業では毎回コメントペーパーを提出させている．そのなかで，質問や意見で特に必要なものについては，詳しい説明や解説を，翌週 15～20 分程度時間をとって行うことでより深い理解と興味を引き出すよう努める．

教科書参考書

授業にて紹介する．

受講に当たっての留意事項

毎回，パワーポイントを用いた授業を行う．毎回カラー刷りの資料を配布する．なお，資料は毎週，翌週使用するものを配布するので，それを確認し予習しておくことが望ましい．授業中のスマホ操作は厳禁とする．

学習到達目標

現在，問題となっている地球環境問題を体系的に把握し，自己の行動をいかにすべきかを考えられるようになること．

JABEE

関連する学習・教育到達目標：Ａ

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習